

# 日々新たな発見

このプログラムでよかったと思うのは、関連病院で研修できることで、労働環境や医療の比較ができ、複雑な症例もcommon diseaseもバランスよく経験できる所です。そして、それぞれの病院で出会った先生方とは研修後も交流があります。

最初に担当していた患者さんに「ありがとう」と退院するときには手作りの手まりをもらい、宝物になっています。また、救急で運ばれてきた患者さんが指導医の先生と話をするだけで安心されている様子を見ると、私もまだまだ頑張らなくてはと思います。

昨年の4月から研修をさせていただいて、今でも変わらず感じるのは、患者さんの心理・社会的背景は本当に様々だということで、新たな発見がある日々です。女性医師として続けていくことを後輩の皆様にも伝えていきたいと思っています。



久保友紀子  
研修医/2年目  
(徳島大学卒業・大阪府出身)



## 徳島大学病院

### <研修プログラムの特徴>

大学病院ならではの3年目以降の専門医研修につながる研修プログラムを用意しています。協力病院も徳島県だけではなく、日本全国に存在し、各研修医が充実した研修を行えるよう、数多くの選択肢があります。また、2年間の臨床研修では、プライマリ・ケアを中心とした基本的な診療能力を習得できるように計画しています。

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1  
徳島大学病院卒後臨床研修センター  
TEL: 088-633-9359 FAX: 088-633-9358  
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp  
URL: <http://www.tokudai-sotsugo.jp/>

検索 → 研修医資料

# 家族や親戚のような暖かさ

主に入院患者さんの回診と、たまに外来の診察にもお声が掛かります。そのおかげで様々な症例を経験することができます。現在1年次研修医は4名ですが一人当たりが経験できる症例数は多く、科を問わず様々な医療スタッフから色々なことを身につけることができます。病院全体が家族や親戚のような暖かな雰囲気ができ、困ったことがあれば、誰もが相談に乗ってくれます。

人に役立つ仕事につきたいと思い、医師になってから責任の重さを感じますが、回診の時に患者さんに「先生が来てくれるん待ったんよ、元気になるわ」って言われると、笑顔になります。もともと野球をしていたのですが、体力勝負の仕事です。自分も含めて、スタッフもこの病院で関わる全ての人が元気で幸せになれるように頑張りたいです。



宮高紘輔  
研修医/1年目  
(徳島大学卒業・徳島県出身)

<研修プログラムの特徴> 当院は徳島県中部～西部にかけての診療圏を持つ二次救急病院で、人口過疎地域にあり、かつ医師不足地域であります。そのため様々な疾患に対応出来る能力が必要とされ、高度な医療を担うための基礎を養成します。

また中～西部の各診療所との密な医療連携が必須であり、特に山間過疎地域での地域医療研修が可能です。更に各科の連携が密であり、また国公立病院にない自由さが特徴です。

## JA徳島厚生連 吉野川医療センター

〒776-8511 徳島県吉野川市鴨島町知恵島字西知恵島120 事務部管理課  
TEL: 0883-26-2222 FAX: 0883-26-2300  
E-mail: kanrika4@ja-ymc.jp  
URL: <http://www.ja-ymc.jp/>

検索 → 研修医資料